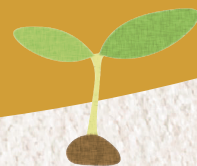


第3回
12/5 (土)
10:00~12:00

アルコール依存症に おける薬物治療の 限界と可能性



日本語通訳付き

アルコール依存症は、本人だけでなく家族にも大きな影響を及ぼす疾患です。治療の基本は心理社会的支援ですが、近年は治療を補完する薬物治療の研究・開発が進み、新たな可能性が広がっています。

本講演では、アメリカの依存症専門医スティーブン・R・アイ医師が、薬物治療の役割や現状、今後の展望について、豊富な臨床経験をもとにわかりやすく解説します。

支援者の方はもちろん、アルコール問題で悩むご本人やご家族、薬物治療について理解を深めたい方にもおすすめの講演です。

リカバリング マインズ
一般社団法人 **Recovering Minds**

スティーブン・R・アイ 医師

スティーブン・R・アイ医師は、30年以上にわたり、アルコール依存症や薬物依存症の治療・教育・研究に携わってきた、アメリカを代表する依存症専門医。カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 医学部卒業後、ロマリダ大学で依存症医学フェローシップを修了。ベティ・フォード・センターやミッション・ホスピタルでメディカルディレクター (診療責任者) を歴任し、現在はホーグ・アディクション・トリートメント・センターの診療責任者を務める。全米各地で講演を行い、豊富な臨床経験に基づく、わかりやすく実践的な講演には定評がある。

